



Newspaper in Education

記事を読んで問いに答えなさい。

静岡新聞で学ぼう



解答例

2021年2月8日朝刊 中部版

JAXA 津田教授がリモート講演



リュウグウのかけらがいつばい！
はやぶさ2の探査機「はやぶさ2」が、地球に届けたカプセルには目標の54倍となる試料が入っていたため（生命の起源につながる研究が進む）。

「はやぶさ2」成功秘訣は

焼津・ディスカバリーパーク

小惑星リュウグウの試料を地球に持ち帰った「はやぶさ2プロジェクト」の計画責任者津田雄一・宇宙航空研究開発機構（JAXA）教授のリモート講演会「おかえり はやぶさ2〜小惑星リュウグウが教えてくれたこと」が6日夜、焼津市のディスカバリーパーク焼津天文科学館で開かれた。世界初のプロジェクトを成功させた秘訣（ひけつ）を「挑戦する心、あきらめない心をプロジェクトチーム全体で持っていたこと」と語った。

「挑戦する心」共有

リモートで紹介されたリュウグウのかけらの写真、焼津市のディスカバリーパーク焼津天文科学館

チームは探査機「はやぶさ2」を2・4億キロ離れた宇宙で、誤差1センチの範囲で操作。リュウグウ表面に人工クレーターを作った上で着陸し、地下物質を採取した。「はやぶさ2」が地球に届けたカプセルには目標の54倍となる5.4gの試料が入っていて、津田教授は「科学的には大々大成果といえる。試料を解析すれば、生命の起源につながる研究が進む」と強調した。（焼津支局・尾原崇也）

チームは探査機「はやぶさ2」を2・4億キロ離れた宇宙で、誤差1センチの範囲で操作。リュウグウ表面に人工クレーターを作った上で着陸し、地下物質を採取した。「はやぶさ2」が地球に届けたカプセルには目標の54倍となる5.4gの試料が入っていて、津田教授は「科学的には大々大成果といえる。試料を解析すれば、生命の起源につながる研究が進む」と強調した。（焼津支局・尾原崇也）

反して岩場だらけで、着陸方法の変更を余儀なくされるなど、難度も課題に直面した。津田教授は、トラブルの対処訓練を事前に何度も繰り返し、成功への科学的な裏付けがあったことや、約600人のチーム内で挑戦する気概を共有していたことで、難題を乗り越えたことを説明した。

プラネタリウム投影 4月まで

焼津市のディスカバリーパーク焼津天文科学館は4月11日まで、小惑星探査機「はやぶさ2」のプロジェクトについて紹介するプラネタリウム投影を実施している。小惑星リュウグウへの着陸再現

着陸の再現映像などを交え、プロジェクトの内容や成果を解説する。投影時間は45分間。平日は午前11時から、土日祝日は午後2時から。観覧料は16歳以上600円、4〜15歳200円。

- ① 「はやぶさ2プロジェクト」が「科学的には大々大成果」といえるのはなぜか。
 [(例) 地球に届けたカプセルには目標の54倍となる試料が入っていたため(生命の起源につながる研究が進む)。]
- ② 津田教授は「はやぶさ2プロジェクト」を成功させた秘訣は何だと言っているか。
 [挑戦する心、あきらめない心をプロジェクトチーム全体で持っていたこと。]
- ③ 「はやぶさ2プロジェクト」からあなたが学ぶことは何か。記事を参考に30字以内で書きなさい(句読点を含む)。
 (例) トラブル対処訓練の繰り返しなど、十分な準備が成功につながる。(30字)
 チーム内での挑戦する意識の共有が課題解決に結びつくこと。(28字)
 何回も柔軟に方法を変更しながら難題を乗り越えていく重要性。(29字)
 など

年 組 名前